# コントラバスの修理代金目安

・数字はインターネット上で公開されている<u>コントラバス専門店</u>の一般的な平均価格です。お店によって多少の誤差はあり得ます。コントラバスの修理は出来ればコントラバス専門の職人、それが難しければ弦楽器のお店にお願いするようにして下さい。「高い」と感じられたらいくつかの専門店に見積依頼される事をお勧め致します。

・表板・裏板のオープンや指板交換、バスバー交換のような大掛かりな修理でない限り金額が大台を超える事はまずありません。※当然、いくつかの修理が重なった結果高くなる事はあり得ます。

		色: 白毛、黒毛、ミックスなど
毛替え	7000~10000 円	モンゴル、シベリアなど毛の種類を選べるお店も
		あります
弓の棹折れ、ヒビ	10000~30000円	直せないケースが多いので、再発する可能性を了
		承した上での作業代金となります
弦交換	1000~2000 円	作業代金のみ、弦代金別
弦	約 50000~80000 円/4本 ※某サイトなら 30000 円~	定価の 6 割程度で購入出来る安いサイト(下記
		参照)があります。お勧めの弦は安価なベルカント
	※采り1下45 30000 円~	(オーケストラチューニング)です。
駒調整	3000 円~	
駒交換	10000円~	作業代のみ、駒代金別
駒	10000~30000 円	
エンドピン交換	3000 円~	作業代金のみ、エンドピン代金別
エンドピン	15000~60000 円	標準的なものは 20000 円程度で買えます
		ネットで買えます。必ず内径を測ってサイズの合う
エンドゴム	100~3000円	ものを購入して下さい。内径が合えば杖用、椅子
	※ネジ式のものは高いです	の脚用のゴムでも代用可能な場合があります。
		※ネジ式は代用不可
指板、バスバー交換	100000 円~	
ネック折れ	30000~80000 円	知識のない方がやりがちですが、折れたネックを
		接着剤でくっつけただけでは直りません!
魂柱交換	10000~20000 円	
魂柱位置調整	5000 円~	
本体剥がれ	I 箇所 3000 円~	
本体割れ	I 箇所 3000 円~	
★割れなどにより本体オープンしなければならない場合 表板、裏板ともに 約 100000~200000 円		

## 弓について

毛が古くなったら「毛替え」をお願いして下さい。毛が古いからといって新しく弓を購入する必要はありません。 プロは1年に1度のペースで毛替えをしますが、部活の弓であれば2年に1度くらいでも良いと思います。

弓の毛替えは自分では出来ません。必ずコントラバス専門店、または弦楽器店にお願いして下さい。 予約して持参すれば1時間程度で終了します。

郵送対応してくれるお店もありますので、お問合せ下さい。 ※毛替え代金は価格表参照 白毛が一般的、黒毛は白毛に比べ少し硬めで芯のある音になります。

松脂を塗り過ぎた場合、歯ブラシで梳いて松脂を落としましょう。

毛が古い状態





毛替え後の毛





弓の棹(さお)が欠けたり折れたりした場合、修理は難しいです。軽度の欠けであれば修理をしてくれる事もありますが、毛を張った時にかかる力によって傷が広がって再発する可能性が高いです。弓の扱いには注意しましょう。

弓の棹が欠けている状態



練習が終わったら弓の毛を緩め、棹に付着した松脂を拭き取るようにしましょう。

#### 駒について

駒は 200kg近い弦の張力によって立っており、弦を全て外してしまうと駒は倒れます。弦を交換するときなど、弦を同時に全て外すことは絶対に止めて下さい。

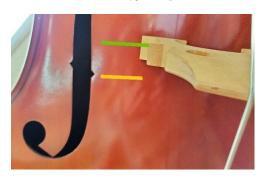
駒の位置がずれていると、左手のポジショニングや弓の使い方に影響します。

駒は自分で修正しようとすると危険です。必ず《プロのコントラバス奏者》または《コントラバス専門店》《弦楽器店》にお願いしましょう。

正しい駒の位置



ずれている駒の位置



駒は木で出来ているので、湿度や張力の影響によって時間の経過とともに反っていきます。駒が反ると倒れて表板を割ってしまうなど破損の原因となります。

この程度の反りであれば コントラバス奏者でも修正可能です



このレベルの反りになってしまったら 駒交換が必要です(代金価格表参照)



他にも、楽器から「ビー」という音が聞こえてきたら割れや剥がれ、ネジの緩みなどの恐れがあります。

- ・ペグ、またはその周辺のネジを締め直してみる・エンドピンのネジを締め直してみる
- ・エンドピンが長すぎて共鳴してしまう⇒エンドピンをカットしてもらいます(専門店へ)

上記で改善されない場合は割れ、剥がれの可能性があるので専門店にご相談ください。

楽器をぶつけたり引きずったりする事のないよう、大切に扱うよう心がけて下さい。

# 弦について

弦を新しくするだけで音程の取りやすさ、鳴り方が変わります。



予算の限られている吹奏楽部には安価で柔らかい音色の「ベルカント」がお勧めです。

コントラバスの弦には「ソロチューニング(ソロ弦)」と「オーケストラチューニング(オケ弦)」があるので、必ずオーケストラチューニングを購入して下さい。

交換時期の混乱を防ぐため、出来れば4本同時に替える事をお勧めします。

管楽器リペアなどを通して弦を購入すると定価になってしまいます。

「ウッドベースドットジェーピー」「I Love Strings」といったサイトでは定価の 6 割程度で購入出来るので、こちらで購入してコントラバス指導者などに交換して貰いましょう。

## 弦を交換する目安

プロは | 年に | 度のペースで交換しますが、弦は高いですし、部活動であれば 2~3 年に一度のペースで良いと思います。弦交換の目安としては「開放弦のチューニングが合いにくくなった」 「手で触るとザラザラする」 「駒にかかっている弦の巻き(下図参照)が広がっている」といったところです。



弦のこの箇所、巻きが広がってきたら交換を検討しましょう。

長く放置していると弦が切れ、撥ね上がった弦で顔を負傷する可能性も あります。

コントラバスは大切に、正しく管理すればきちんと鳴ってくれます。

そして修理代金はそれほど高いものではありません。良い音を出すために、正しい知識を身につけて、相場にふさわしい金額で修理してもらうようにしましょう。

制作:コントラバス奏者・指導者 鷲見精一

